

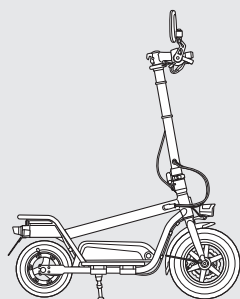


クロススクーター ロム

X-SCOOTER LOM

取扱説明書

⚠ ご使用の前には必ず取扱説明書をよく読んでください。



glafit®

移動を、タノシメ！

glafitは、移動を、ただそれだけでは終わらせない——。

移動することは、本来楽しくて、面白くて、うれしいことだったはず。

私たち glafit (グラフィット) は、ユーザーの「乗りたい！」をカタチとして創造する企業です。

glafitが作った「Hybrid Bike GFR」や「X-SCOOTER LOM」は100%電動で、モーター駆動。

glafitの製品に乗ると、ガソリンエンジンで走っていた時には聞こえなかった鳥のさえずりや川の音が聴こえて、走り慣れたいつもの道がまったく違う体験になるんです。

移動がつまらない？

それなら、私たちの製品で、あなたの日常をアップデートしませんか？

人々の生活に FITする新しい移動体験を届ける。

それが glafitの使命です。



はじめに

X-SCOOTER LOM をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。

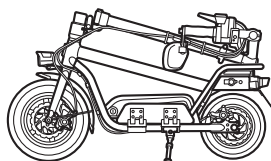
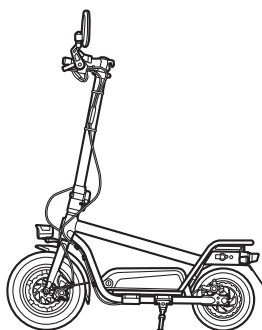
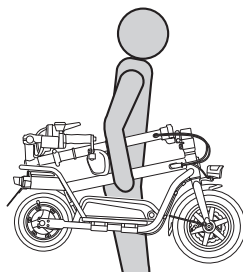
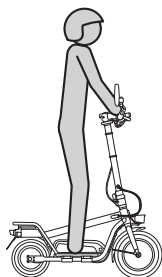
この取扱説明書には、お買いあげいただいた当製品を安全に正しくお使いいただく方法を説明しています。

必ずこの取扱説明書をよく読み、ご理解いただいたうえで運転してください。

- 当製品は、予告なく仕様、デザインを変更する場合があります。予めご了承ください。
- 当製品をお譲りになる場合、次の所有者にこの取扱説明書もご提供ください。
- 仕様の変更などにより、本書の記載内容と実物が異なる場合がありますが、予めご了承ください。

X-SCOOTER LOM の特徴

X-SCOOTER LOM (クロススクーター ロム) は、ステップに跨がり立ち乗りで運転する新しいタイプの電動スクーターです。また、持ち運びや収納する際にコンパクトに折り畳むことが可能です。



安全に関する表示

運転される方、その周囲の他の方々への傷害や、財産の損害を未然に防止するため、安全に関する下記の表示をしています。

表示の内容をよくご理解のうえ、取扱説明書をお読みください。



この表示の内容に従わないと、人の死亡もしくは重傷を負う可能性が高いことを意味しています。



この表示の内容に従わないと、人の死亡もしくは重傷を負う可能性があることを意味しています。



この表示の内容を無視し、誤った使い方をすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生する危険性があることを意味しています。



正しい使い方のポイントを示しています。

目次

安全のために.....	4
製品の確認.....	6
各部の名称.....	7
最初に運転するとき.....	12
各部の操作.....	15
運転前点検.....	33
運転.....	37
車両の折り畳み・組み立て.....	41
お手入れ.....	48
トラブルシューティング.....	52
運搬・保管・廃棄.....	54
車両情報.....	57
索引.....	59
お問い合わせ.....	61

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

安全のために

1

ここでは特に守っていただきたいことや、知っておいていただきたいことを記載しています。以下の内容をよく読み運転してください。

運転免許が必要です

当製品は、道路交通法では第一種原動機付自転車（原付）です。運転する際は、原付免許（原付一種）以上の運転免許、普通自動車免許以上の運転免許が必要です。

- ナンバー登録及び取り付けが必要です。
- 自動車損害賠償責任保険（自賠責保険）へ加入が必要です。

ヘルメットの着用は義務です

- 運転する際は、ヘルメットの着用が法律で義務付けられています。
- ヘルメットはサイズに合った、適切なものを着用してください。
- ヘルメット着用時は、あごひもをしっかりと締めてください。
- ゴーグルやヘルメット・シールド等は、視界を妨げない範囲で装着し、眼の保護をしてください。
- 二輪車で、安全基準を満たしている SG マーク、PSC マークもしくは JIS マークのあるヘルメットの着用を推奨します。

安全な服装で運転をしてください

- 体の露出が少ない長そで、長ズボンを着用ください。
- 肩、肘、膝などへのプロテクターの装着を推奨します。
- 滑りにくい革製グローブの着用を推奨します。

警告

- 長いマフラーの着用は、車輪などに巻き込まれてしまう可能性があるため、着用しないでください。
- ブレーキランプ、ウィンカー、ナンバープレートは、常に見える状態にする必要があります。コート等丈の長い衣服を着用する際は、衣服がブレーキランプ、ウィンカー、ナンバープレートを隠さないように注意してください。
- ヒールなどかかとの高い靴を着用しないでください。
- サンドルやすべりやすい靴は、転倒するおそれがありますので着用しないでください。

運転する際は以下を順守してください

- 第一種原動機付自転車に求められる道路交通法上の義務を守り走行してください。
- 本製品は、一般の道路環境での適切な使用を想定しています。2人乗、競争、重量物の積載、凹凸面・段差の激しい路面・障害物のある場所などでの運転など危険な使用はしないでください。
- ハンドルを両手でしっかりと握ってください。片手運転はしないでください。
- スマートフォン等携帯電話を見たり、操作しないでください。法律で禁止されています。スマートフォンホルダー等を使用した場合でも、必ず安全な場所で停車してから確認や操作をしてください。
- 傘をさしながらの運転はしないでください。法律で禁止されています。
- 両足はステップにしっかりと載せてください。
- 急発進、急ブレーキ、急なハンドル操作といった「急」の付く操作はしないでください。たいへん危険です。
- 車道を走行してください。自転車が走行可能な歩道でも走行できません。
- 歩行者を第一優先で、配慮した運転をしてください。また他の車両への配慮も欠かさないで運転してください。

雨天の運転

- X-SCOOTER LOM は完全防水ではありません。
- 雨の降り方や雨天時の車両の使い方によっては、故障することがあります。
- 水たまりを避けて走行してください。
- やむを得ず水たまりを走行する際は、十分減速し、歩行者等周囲に水が跳ねないように気を付けてください。
- 水たまりを走行すると、ブレーキが濡れることで制動力が低下します。
- 激しい雨のときは運転しないでください。

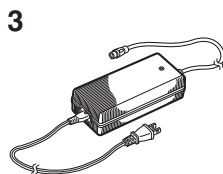
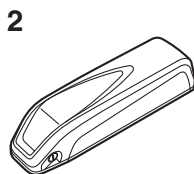
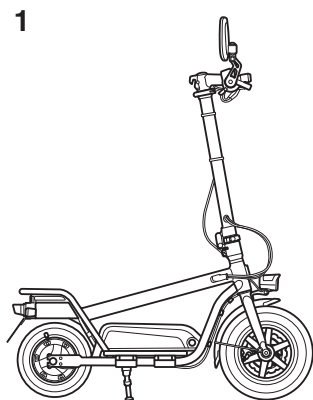
製品の確認

製品がお手元に届きましたら、下記のものが過不足無いことをご確認ください。

内容に問題がありましたら取扱店にご連絡ください。

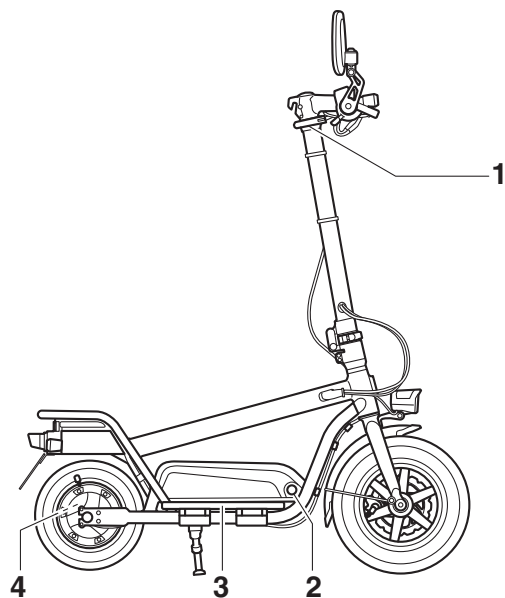
2

- 1 本体
- 2 バッテリー（本体に取付）
- 3 バッテリー充電器
- 4 保証書
- 5 バッテリー取外しキー（2本）
- 6 メインスイッチキー（2本）



各部の名称

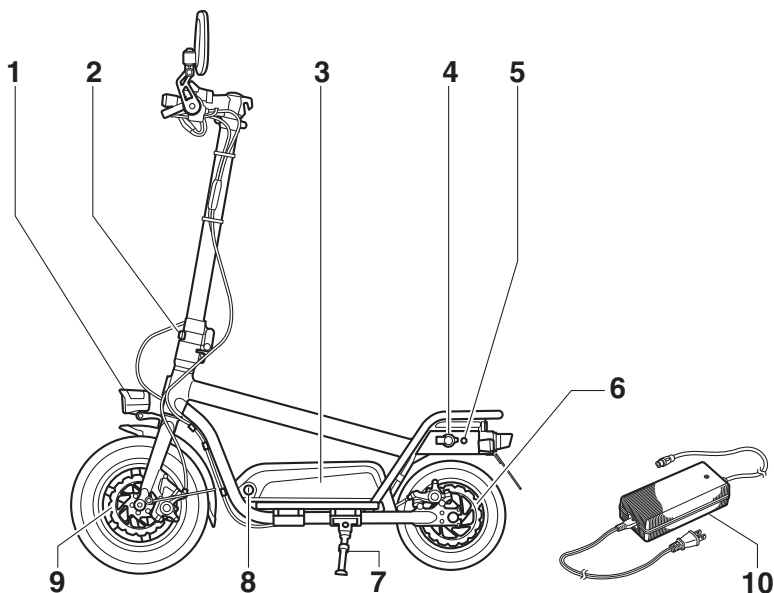
右側面



- 1 ハンドル高さ調整レバー
- 2 バッテリー充電口
- 3 ステップ
- 4 モーター

各部の名称

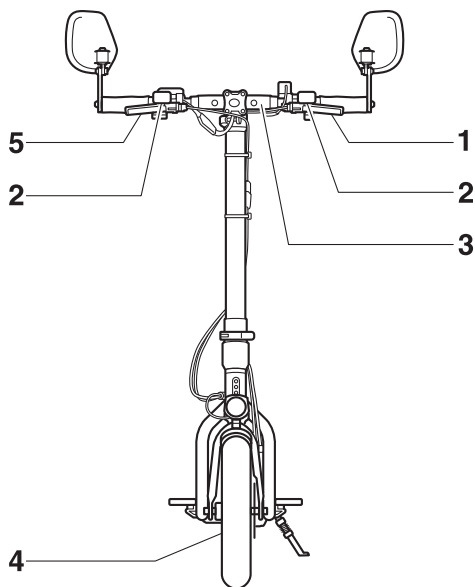
左側面



- 1 ヘッドライト／ホーン（ヘッドライト内部）
- 2 ハンドル折畳レバー
- 3 バッテリー
- 4 メインスイッチ
- 5 アプリ接続／パスワード変更ボタン
- 6 後輪ディスクブレーキ
- 7 スタンド
- 8 バッテリーロック
- 9 前輪ディスクブレーキ
- 10 充電器

各部の名称

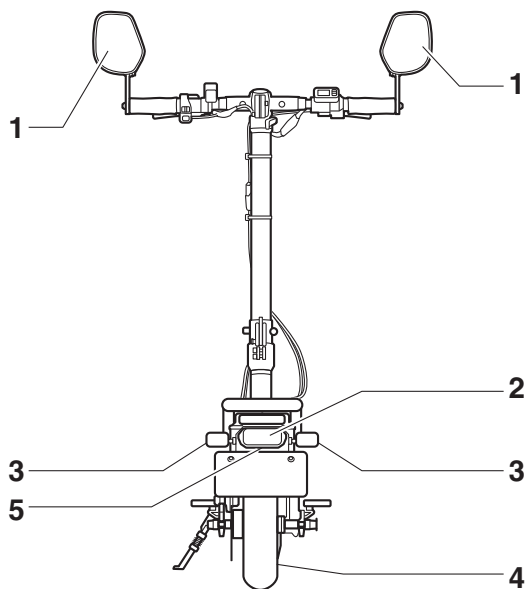
前面



- 1 後輪ブレーキレバー
- 2 前ウィンカー
- 3 ハンドル
- 4 前輪タイヤ
- 5 前輪ブレーキレバー

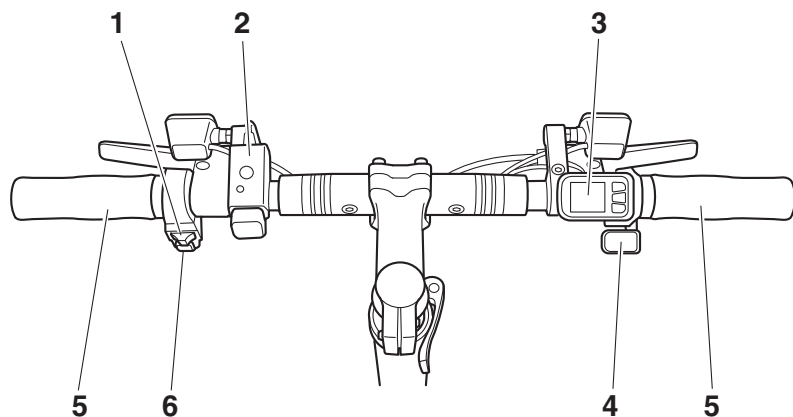
各部の名称

後面



- 1 サイドミラー
- 2 ブレーキランプ
- 3 後ウィンカー
- 4 後輪タイヤ
- 5 ナンバーライト (白色 LED)

ハンドル



- 1 ウィンカー（方向指示器）スイッチ
- 2 USB 充電器
- 3 スロットルメーター（インフォメーションディスプレイ）
- 4 スロットル
- 5 グリップ
- 6 ホーンボタン

最初に運転するとき

当製品は原付です。運転する場合には事前にナンバー登録と自賠責の加入が必要です。また、運転するときにはヘルメットの着用、運転免許証の携帯も法律で義務付けられています。車両を安全に運転するために、以下の内容を必ず行ってください。

4

メモ

ナンバープレートの登録、自賠責保険の加入の詳細については、ヘルプセンターを参照してください。

ヘルプセンター：

<https://support.glafit.com/hc/ja>

ナンバープレートの登録

各自治体でナンバープレート登録の手続きをして、ナンバープレートを取得してください。

⚠ 注意

当製品は「第一種原動機付自転車」です。ナンバープレートを取得しなければ運転できません。

自賠責保険への加入

自賠責保険への加入は法律で義務付けられています。

自賠責保険への加入申し込みは、取扱店、自賠責保険取扱店、コンビニエンスストアなどでできます。

メモ

事故の程度によっては、自賠責保険だけでは費用が対応できない場合があります。そのため自賠責保険に合わせ任意保険への加入も推奨します。既に自動車保険にご加入の場合は、その自動車保険の特約で附帯されることもありますので、ご加入の自動車保険の窓口にお問い合わせください。

ヘルメットを用意

運転する際はヘルメットの着用が法律で義務付けられています。二輪車用ヘルメットをご用意ください。

運転免許証を携帯

当製品を運転するには原付免許以上の運転免許が必要です。運転免許を取得し、その運転免許証を運転時は常に携帯してください。

最初に運転するとき

証明書をケースに入れる

以下の手順で、証明書携行用ケースに、標識交付証明書、自賠責保険証明書をいれてください。

- 1 バッテリーを取り外します。

メモ

バッテリーの取り外しは、23 ページ「バッテリーの取り外し」を参照。

- 2 証明書携行用ケースに、標識交付証明書、自賠責保険証明書を入れ、蓋を閉めます。



1 証明書携行用ケース

- 3 バッテリーを取り付けます。

メモ

バッテリーの取り付けは、23 ページ「バッテリーの取り付け」を参照。

バッテリーの起動

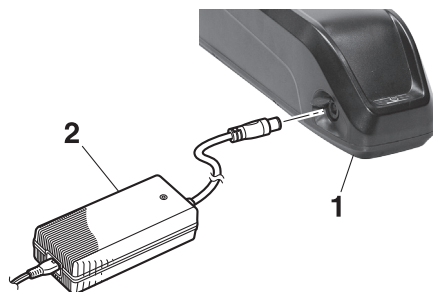
車両お届け時には、バッテリーが休止状態になっているため、そのままではご利用できません。

車両を初めて利用する前に、バッテリーを起動する必要があります。以下の手順でバッテリーを起動させてください。

- 1 初回充電時は、必ず車両からバッテリーを取り外し、バッテリー単体で充電を開始してください。

メモ

充電器は、確実に奥までしっかりと挿し込まれていることを確認してください。



- 1 バッテリー
- 2 バッテリー充電器

最初に運転するとき

- 2** 充電器のインジケータ LED が赤色に点灯すれば、バッテリーの起動完了です。

メモ

一度インジケータ LED が赤色に点灯すればバッテリーはご利用可能になりますが、車両出荷時には、バッテリーは満充電になっておりませんので、走行前には充電することを推奨します。

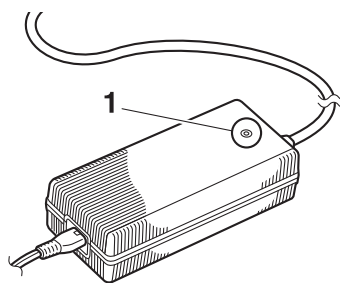
ユーザー登録

以下の URL または QR コードからパソコンまたはスマートフォンを使用して、ユーザー登録をしてください。

メモ

- 車両を使用される方のお名前で登録してください。
- 購入者と使用者が異なる場合は、必ず使用者の名前で登録してください。

<https://service-glafit.com/signup>



1 インジケータ LED

- 3** 充電器を取り外し、バッテリーを車両へ取り付けます。

メモ

バッテリーの取り付けは、23 ページ「バッテリーの取り付け」を参照。

専用アプリのダウンロード

専用アプリをダウンロードいただくことで、より快適に車両をご利用できます。

以下の URL または QR コードからスマートフォンを使用して、専用アプリをダウンロードしてください。

メモ

専用アプリの機能

- スマートフォンからの電源の ON/OFF が可能。
- バッテリー残量・走行可能距離予測表示。

<https://support.glafit.com/hc/ja/articles/360061071753>



インフォメーション・ディスプレイ

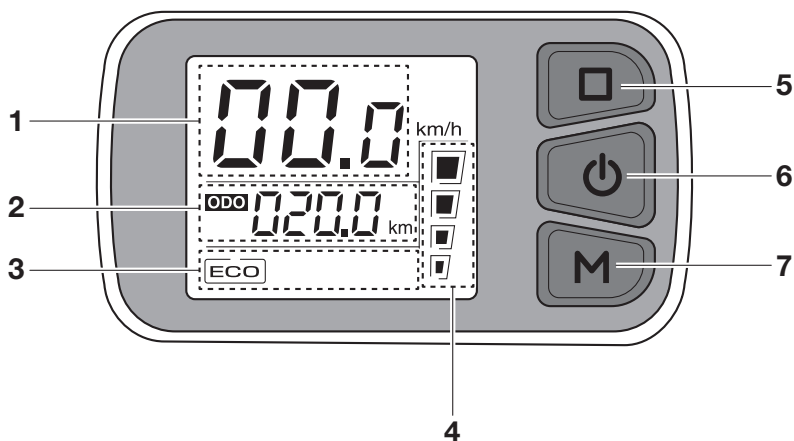
インフォメーション・ディスプレイには以下の機能があります。

- 速度表示
- オドメーター（総走行距離表示）
- トリップメーター（走行距離表示）
- バッテリー電圧表示
- 走行モード表示
- バッテリー残量目安表示
- パワーのオン・オフ
- 走行モードの切り替え
- 走行距離 / バッテリー電圧表示の切り替え

5

⚠ 警告

バッテリーの残量の確認や、表示の切り替えは必ず停車中に行ってください。



- 1 速度表示
- 2 走行距離 / バッテリー電圧表示
- 3 走行モード表示
- 4 バッテリー残量目安表示
- 5 表示切替ボタン

- 6 パワースイッチ
- 7 走行モード切替ボタン

各部の操作

パワースイッチ

⚠ 注意

走行中にパワースイッチの操作をしないでください。

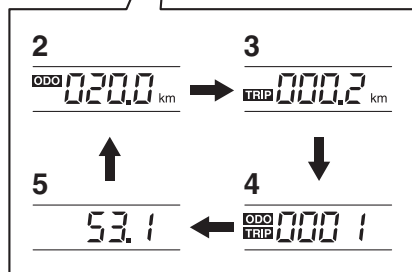
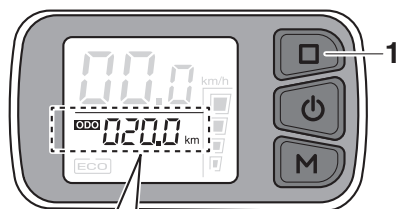
メインスイッチが入のときに、パワースイッチを長押しする（約2秒間押し続ける）ことで、パワーのオン／オフができます。

📖 メモ

メインスイッチの操作方法は、20 ページ「メインスイッチキー」を参照。

表示切替ボタン

表示切替ボタンを押すごとに、走行距離 / バッテリー電圧表示が、オドメーター→トリップメーター→オドメーター（1000 km 以上）→バッテリー電圧表示→オドメーターの順で切り替わります。



- 1 表示切替ボタン
- 2 オドメーター
- 3 トリップメーター
- 4 オドメーター（1000 km 以上）
- 5 バッテリー電圧 (V) 表示

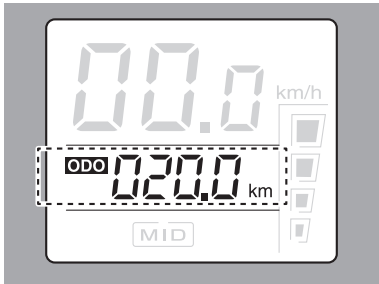
各部の操作

オドメーター

走行した総距離を表示します。

メモ

オドメーターはリセットできません。

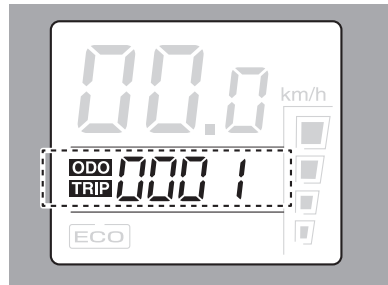


オドメーター (1000 km 以上)

走行した総距離 (1,000 km 以上) を表示します。

メモ

オドメーターはリセットできません。



5

トリップメーター

パワーオンした所からの走行距離を表示します。

メモ

トリップメーターは、パワーオフするごとにリセットされます。



例：1234.5km の走行距離 → (ODO,TRIP 表示)：“1” + (ODO 表示)：“234.5”

1234.5km



ODO TRIP 000 1

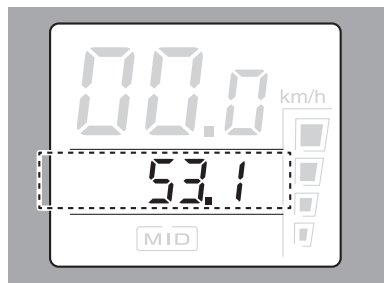
+

ODO 234.5 km

各部の操作

バッテリー電圧表示

バッテリーの電圧 (V) を表示します。

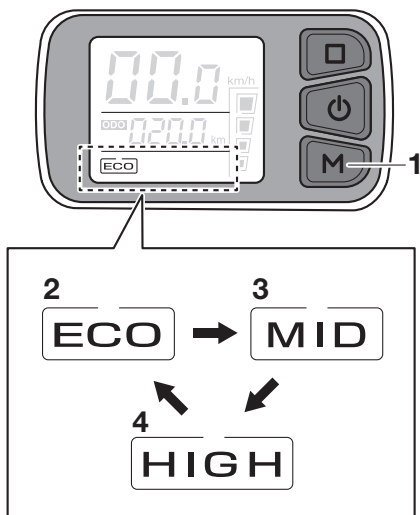


走行モード切替ボタン

走行モード切替ボタンを押すごとに、走行モードが ECO → MID → HIGH の順で切り替わります。

メモ

- パワーオンしたときは、常時 ECO になります。
- 走行モードの切り替えは走行中にも可能です。
- 各走行モードについては、19 ページ「走行モード表示」を参照。



- 1 走行モード切替ボタン
- 2 ECO モード
- 3 MID モード
- 4 HIGH モード

各部の操作

走行モード表示

選択している走行モードを表示します。
表示とモードは以下の通りです。

表示	選択モード
ECO	ECO モード 最高速度 10 km/h
MID	MID モード 最高速度 25 km/h
HIGH	HIGH モード 最高速度 25 km/h 以上

メモ

パワーオンしたときは、常時 ECO になります。

速度表示

車両の速度を表示します。



バッテリー残量表示目安

バッテリーの残量の目安を表示します。
表示とバッテリー残量の目安は以下の通りです。

表示	バッテリー残量
	多い ↑ 満充電
	少ない
	無し

5

メモ

表示が1個点灯の場合は充電を推奨します。
続けて走行される場合は ECO モードに切り替えてください。

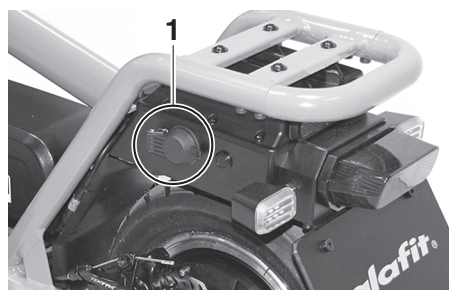
各部の操作

メインスイッチ

メインスイッチキー

メインスイッチは、メインスイッチキーを使用して車両の電源の入・切を行います。

- 1 車両左側にある、メインスイッチカバーを開けます。

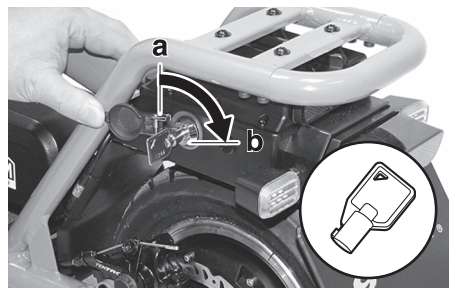


1 メインスイッチカバー

- 2 メインスイッチキーをメインスイッチに差し込み、キーを押しながら右に 90° 回します。

メモ

メインスイッチを回すことで電源が入ります。



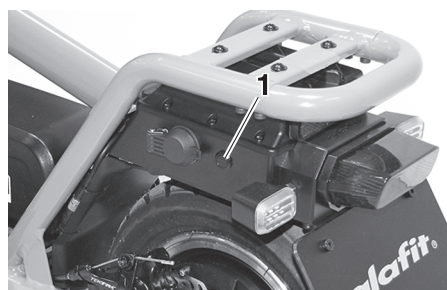
- a 電源：切
b 電源：入

- 3 メインスイッチキーを左に 90° 回して電源を切ります。

- 4 メインスイッチキーを取り外します。

アプリ接続パスワード変更ボタン

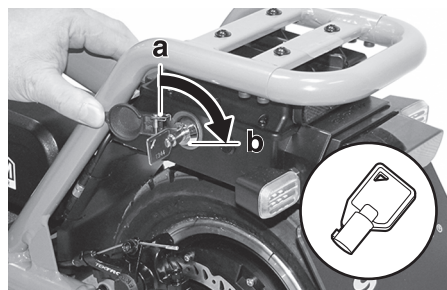
アプリ接続パスワード変更ボタンを押すことで、専用アプリとの接続パスワードを変更できます。



1 アプリ接続パスワード変更ボタン

接続パスワードの変更

- 1 メインスイッチキーをメインスイッチに差し込み、キーを押しながら右に 90° 回します。



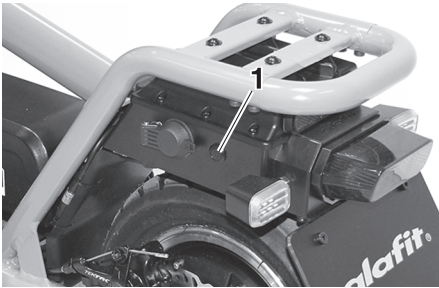
- a 電源：切
b 電源：入

各部の操作

- 2 アプリ接続パスワード変更ボタンを3回押します。

メモ

ボタンは5秒以内に3回押します。



1 アプリ接続パスワード変更ボタン

- 3 パスワードを変更します。

メモ

手順2の後、3分以内にパスワードを変更してください。

バッテリー

⚠ 注意

車両を初めて利用する前に、バッテリーを起動する必要があります。

初回充電時は、必ず車両からバッテリーを取り外し、バッテリー単体で充電を開始してください。充電器は、確実に奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。

バッテリーは、リチウムイオン電池を使用していて、車両本体の中央部に取り付けられています。

メモ

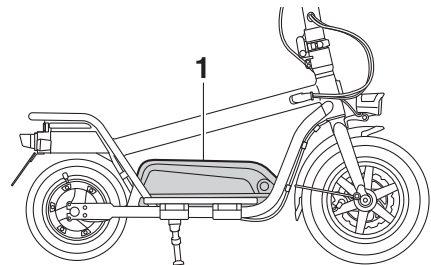
- バッテリーの起動は、13 ページ「バッテリーの起動」を参照。
- シャットダウン（休止）状態から、バッテリーを回復させる場合は、バッテリー単体での充電をお願いします。

バッテリーの取り扱い

バッテリーの取り扱いは、火災や感電を防ぐため下記のことにご注意ください。

⚠ 警告

- バッテリーは、落下や破損しないよう、取り扱いには十分ご注意ください。落下、破損により火災の恐れがあります。
- バッテリーを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- バッテリーに水をかけたり、水の中に入れないでください。
- バッテリーを分解しないでください。
- バッテリーを加工、改造などをしないでください。
- バッテリーを火器類に近づけないでください。
- バッテリーケースに破損があったり、凹みがあった場合は使用しないでください。
- バッテリーを当製品以外に使用しないでください。

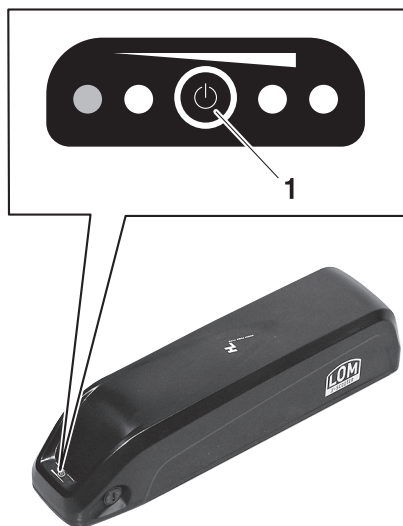


1 バッテリー

各部の操作

バッテリーインジケーター

バッテリー本体にあるバッテリーインジケーターは、LED（赤・緑）の点灯と消灯で、バッテリー残量の目安を表示します。バッテリー残量を確認するときは、残量表示ボタンを押します。



1 残量表示ボタン

バッテリーインジケーターのLEDの点灯数で、バッテリーの残量を確認できます。



メモ

残量表示ボタンを押している間のみ、バッテリーインジケーターLEDが点灯します。

表示	バッテリー残量
	多い 満充電 少ない
	無し
	無し

- ：消灯
- ：緑点灯
- ：赤点灯

各部の操作

バッテリーの取り外し

⚠ 注意

バッテリーを取り外す際は、必ずパワーオフした状態で作業をしてください。

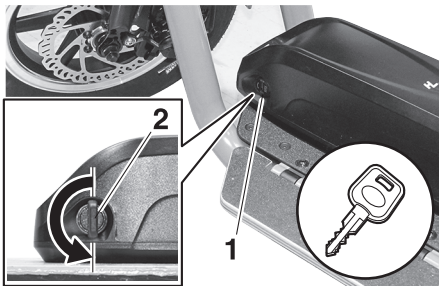
- 1 バッテリー取外しキー差込口に、バッテリー取外しキーを差し込み、キーを左に回してロックを解除します。

⚠ 注意

ロックを解除しないままバッテリーを抜こうとすると、破損の恐れがあります。

📖 メモ

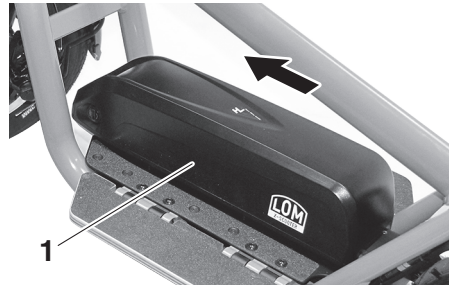
バッテリー取外しキーは予備を含め2本が付属されています。なくさないようにしてください。



- 1 バッテリー取外しキー差込口
- 2 バッテリー取外しキー

- 2 バッテリー取外しキーを取り外します。

- 3 バッテリーを車両前側にスライドさせた後、上側に取り外します。



- 1 バッテリー

バッテリーの取り付け

- 1 バッテリーを車両に取り付けます。

📖 メモ

バッテリーの取り付けは、取り外しの逆手順で行ってください。

⚠ 警告

バッテリーを車両に取り付けた際、必ずバッテリーに鍵をかけてください。走行中にバッテリーが車両から外れ大変危険です。

各部の操作

バッテリーの充電

バッテリーへの充電は、付属の専用充電器を使用して、ご家庭の AC コンセント (100V) からできます。

警告

- 充電器は、X-SCOOTER LOM のバッテリー以外で使用しないでください。
- 充電器は、充電完了後に自動で充電を停止しますが、安全のため充電終了後は AC コンセントからケーブルを抜いてください。
- 充電器から異臭や発煙がある場合には直ちにコンセントから抜き使用しないでください。
- バッテリーや充電器は、水に濡らしたり、濡れた手で触らないでください。
- バッテリーや充電器は、分解や改造をしないでください。

注意

- 付属の専用充電器以外のご使用にならないでください。
- 車両を初めて利用する前に、バッテリーを起動する必要があります。
初回充電時は、必ず車両からバッテリーを取り外し、バッテリー単体で充電を開始してください。充電器は、確実に奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- 充電中は、充電器が高温になります。充電中は充電器に触らないでください。また周囲の物に気を付けてください。
- メインスイッチを“入”にした状態で充電しないでください。

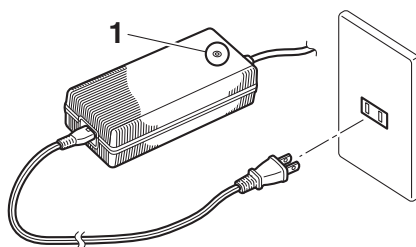
メモ

- バッテリーの起動は、13 ページ「バッテリーの起動」を参照。
- バッテリーは、車両に取り付けた状態でも、取り外した状態でも充電できます。
- バッテリーは充電と放電を繰り返すと消耗します。参考として 500 回の充電で 80% 程度まで消耗します。

- 1 充電器のプラグを AC コンセントに接続します。

メモ

充電器をコンセントに接続した際、充電器のインジケーター LED ランプが緑色に点灯していることを確認します。



1 インジケーター LED

各部の操作

2 キャップを取り外します。

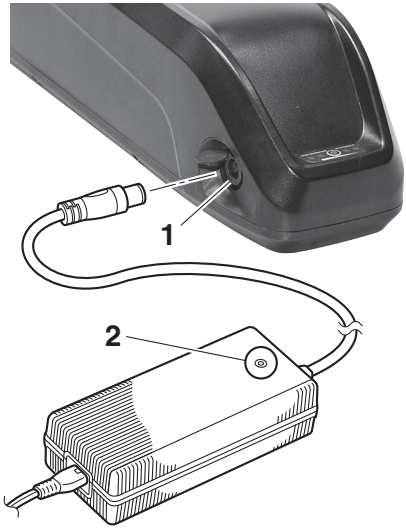


1 キャップ

3 バッテリー充電口に充電器を接続します。

メモ

- 充電コネクタをバッテリーに挿すときに、火花が発生する場合があります。
- 充電器をバッテリーに接続すると自動で充電を開始します。
- 充電中は充電器のインジケータ LED ランプが赤色に点灯します。
- バッテリーの充電時間は、標準バッテリーで約 3.5 時間、大容量バッテリーで約 6 時間です。
- 充電が完了すると充電器のインジケータ LED ランプが緑色に点灯もしくは点滅します。



- 1 充電口
2 インジケータ LED

4 充電器をバッテリーから取り外し、充電口にキャップを取り付けます。

注意

充電中は、充電器本体が熱くなりますので注意してください。

各部の操作

充電器

充電器の取り扱い、火災や感電を防ぐため下記のことにご注意ください。

警告

- 充電器は、X-SCOOTER LOM のバッテリー以外で使用しないでください。
- 充電器は、充電完了後に自動で充電を停止しますが、安全のため充電終了後は AC コンセントからケーブルを抜いてください。
- 充電器から異臭や発煙、異常な発熱がある場合には直ちにコンセントから抜き使用しないでください。
- 充電器は、水に濡らしたり、濡れた手で触らないでください。
- 充電器は、分解や改造をしないでください。

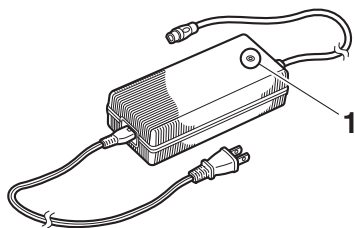
注意

- 付属の専用充電器以外のご使用にならないでください。
- 充電中は、充電器が高温になります。充電中は充電器に触らないでください。また周囲の物に気を付けてください。

付属の充電器は本製品専用の充電器です。充電器を、ご家庭の AC コンセント (100V) と車両のバッテリーに接続して充電します。

バッテリーの充電方法は、21 ページ「バッテリー」を参照。

バッテリーへの充電状況は、充電器のインジケーター (LED ランプ) でわかります。



1 インジケーター LED

LED 色	点灯状況	充電状況
緑	点灯	待機中 (ACコンセント側のみ接続)
赤	点灯	充電中
緑	点灯または点滅	充電完了

各部の操作

ハンドル

ハンドルは、使用者の好みに応じて高さを調節できます。

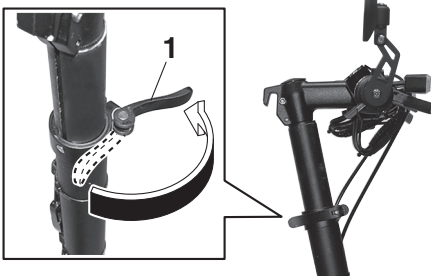
⚠ 注意

ハンドルポストに荷物をかけないでください。ハンドルポストが破損する可能性があります。

ハンドルの調整

車両を運転する際は、ハンドルは正しい位置に調整してください。

- 1 ハンドル高さ調整レバーを手前に引きます。



1 ハンドル高さ調整レバー

- 2 ハンドルの高さを調整して、ハンドル高さ調整レバーを元の位置に戻します。

📖 メモ

- ハンドル高さ調整レバーを元の位置に戻してもハンドル位置がしっかりと固定できない場合は、レバーが開いた状態でレバー調節ツマミを時計周りに回して調節してください。
- ハンドル高さ調整レバーが固く元の位置

に戻し難い場合は、レバーが開いた状態でレバー調節ツマミを反時計周りに回して調節してください。



- 1 ハンドル高さ調整レバー
- 2 レバー調節ツマミ

各部の操作

ヘッドライト

ヘッドライトは、パワーオンすることで、自動的に点灯します。
ヘッドライトは、安全のため日中でも点灯したままとなります。



ホーン

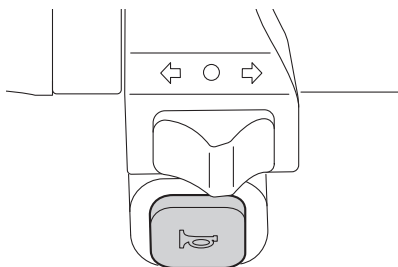
ホーンは、ヘッドライト内部にあります。
ホーンボタンを押すと鳴動します。



1 ホーン

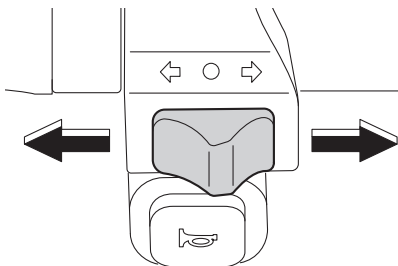
ホーンボタン

ボタンを押すとホーンが鳴動します。ボタンを押している間、ホーンは鳴動し続けます。



ウィンカースイッチ (方向指示器)

ウィンカースイッチ (方向指示器) は進路変更の合図に使用します。
ウィンカースイッチを右にスライドすると、右ウィンカーが点滅します。
ウィンカースイッチを左にスライドすると左ウィンカーが点滅します。
ウィンカーを消灯する場合は、スイッチを中央の○印の位置に戻します。

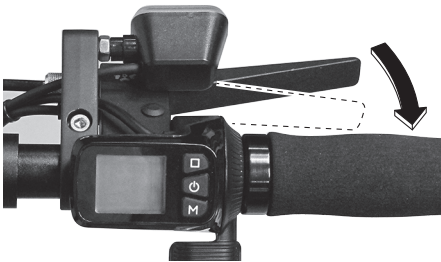


前輪ブレーキレバー

前輪ブレーキをかける際は、このレバーを握ります。

警告

- ブレーキレバーを握るときにはスロットルレバーから手を放してください。
- ブレーキパッドは消耗品です。ブレーキの利きが悪くなった場合には交換してください。

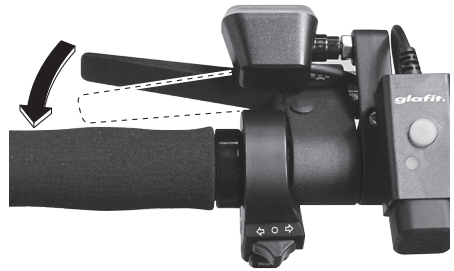


後輪ブレーキレバー

後輪ブレーキをかける際は、このレバーを握ります。

警告

- ブレーキレバーを握るときにはスロットルレバーから指を放してください。
- ブレーキパッドは消耗品です。ブレーキの利きが悪くなった場合には交換してください。



サイドミラー

サイドミラーは、使用者の好みに応じて角度を調節できます。

サイドミラーの調節

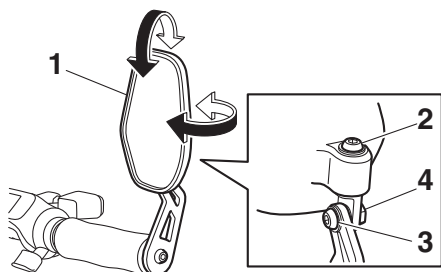
- 1 サイドミラーを好みの角度に調節します。
- 2 必要に応じて、ミラー調節ボルトを締めめます。

メモ

- ミラーが動いてしまう場合には、ミラー調節ボルトを締め付けてください。
- ミラー調節ボルト（上下）は、ナットを手で固定しながら締めてください。
- ミラー調節ボルトを締め付けすぎると、ミラーが動かなくなります。ミラー調節ボルトは適度な強さで締めて付けてください。

ミラー調節ボルト締め付けトルク
標準 2.5 N・m

各部の操作



- 1 サイドミラー
- 2 ミラー調節ボルト (左右)
- 3 ミラー調節ボルト (上下)
- 4 ナット

5

スロットル

スロットルは、ハンドル右側にあります。スロットルを、右手の親指で押すとスロットル・オンとなって、モーター走行ができます。

スロットルを戻すと速度が落ちます。

⚠ 危険

スロットル操作を誤ると急発進し、たいへん危険ですので、不用意な操作は絶対に行わないでください。

📖 メモ

走行中にブレーキレバーを握ると、自動的にスロットルがオフになります。



1 スロットル



各部の操作

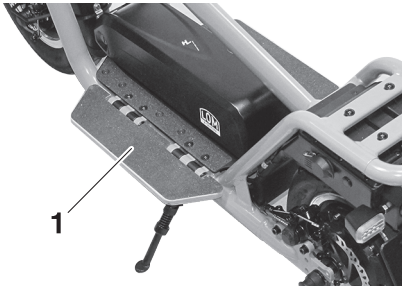
5

ステップ

ステップは、走行の際に両足を置きます。また、車両を折り畳む際は、ステップを折り畳みます。

⚠ 警告

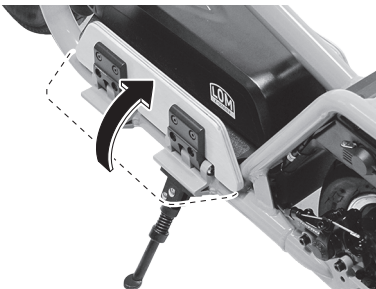
ステップは消耗品です。ひび割れ・破損・剥がれ等見られる場合には交換してください。



1 ステップ

ステップの折り畳み

- 1 ステップを持ち上げて、ステップを折り畳みます。



スタンド

スタンドは、駐車する際に使用します。また、走行する際には跳ね上げます。

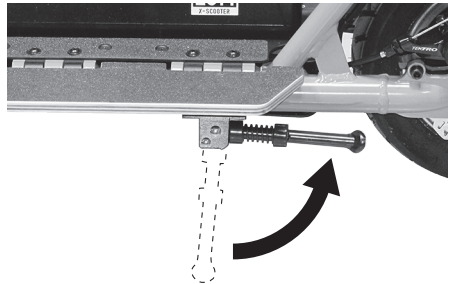
走行時

走行時は、スタンドを足で反時計回り方向に跳ね上げてください。

跳ね上がると、スタンドは地面に対して水平方向の位置になります。

⚠ 危険

走行時は、必ずスタンドを跳ね上げてください。走行中、段差や凹凸があるとスタンドが接触し、たいへん危険です。

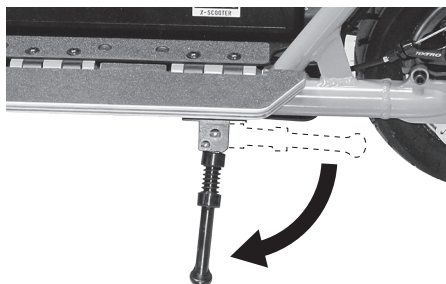


各部の操作

駐車時

駐車時は、跳ね上げられているスタンドを、足で時計回り方向に下げてスタンドを立ててください。

スタンドは確実に立てて車両が倒れないようにしてください。



USB 充電器

USB 充電器は、市販の USB ケーブルを接続することでスマートフォン等に電気を供給できます。

メモ

USB ポートの出力は、2.1A と高出力です。大容量のスマートフォンも素早く充電が可能です。

USB 充電器の使用

1 防水キャップを取り外します。

2 電源ボタンを押します。

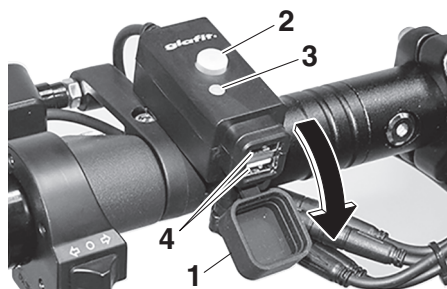
メモ

USB 充電器に電源が入ると、LED が点灯します。

3 USB ポートにケーブルを接続します。

メモ

- 電源を切る際は、電源ボタンを押します。
- 電源を切ってもしばらくは LED が点灯しています。
- USB 充電器を使用後は必ず防水キャップを取り付けてください



- 1 防水キャップ
- 2 電源ボタン
- 3 LED
- 4 USB ポート

運転前点検

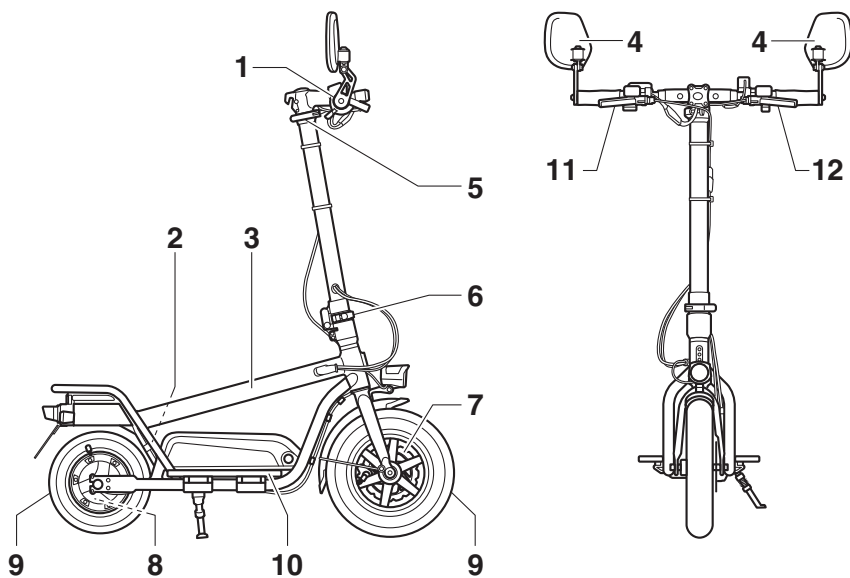
運転前には必ず点検を実施してから走行してください。

最初にパワーオフ状態で点検し、その後パワーオンした状態で点検作業を実施してください。

⚠ 注意

点検で異常が発見されたり、不明点が見つかった場合は、必ず取扱店へご相談ください。

パワーオフ状態での点検



運転前点検

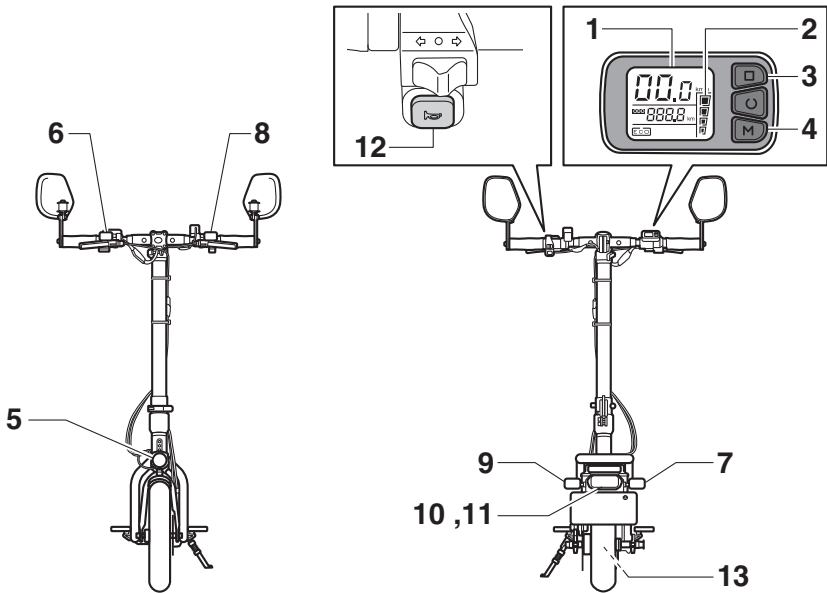
6

No.	点検箇所	点検内容
1	ハンドル	ガタついていないか？
2	証明書携行用ケース	携行用ケースが車両に取り付けられ、自賠責保険証明書が入っているか？
3	フレーム	フレームに凹み、亀裂、傷、変形がないか？
4	サイドミラー	鏡面が汚れていないか？後方をしっかりと視認できるよう調整されているか？
5	ハンドル高さ調整レバー	レバーがしっかりとロックされているか？下がらないか？ 高さが合っているか (MIN と MAX の間の位置になっているか) ？
6	ハンドル折畳レバー	レバーがしっかりとロックされているか？
7	前輪ブレーキ	ブレーキの動作に問題ないか？ ブレーキに異物等が挟まっていないか？ ブレーキパッドがすり減っていないか？
8	後輪ブレーキ	ブレーキの動作に問題ないか？ ブレーキに異物等が挟まっていないか？ ブレーキパッドがすり減っていないか？
9	タイヤ（前輪／後輪）	タイヤの溝がすり減っていないか？（1mm 以下になったら交換） タイヤに傷等はないか？空気が減ってないか？ （適正空気圧：前輪 280 kPa / 2.8 bar、後輪 310 kPa / 3.1 bar）
10	ステップ	ガタつき、ひび割れ、破損、剥がれがないか？
11	前輪ブレーキレバー	ブレーキレバーを握り、車両を前後に動かし前輪が回らないか？
12	後輪ブレーキレバー	ブレーキレバーを握り、車両を前後に動かし後輪が回らないか？

パワーオン状態での点検

⚠ 危険

パワーオン状態で、スロットルを操作しないでください。
スロットルを操作すると、車両が動き出してたいへん危険です。



運転前点検

6

No.	点検箇所	点検内容
1	インフォメーション・ディスプレイ	バックライトが点灯し、ディスプレイが表示されているか？
2	バッテリー残量表示目安	バッテリー残量を確認し、残量表示が 1 個の場合は充電してください。 但し、ECO モードでの走行はできます。 その場合、走行距離が短くなるので注意してください。
3	表示切替ボタン	ボタンを押して表示内容が切り替わっているか？ (切り替わり内容は、16 ページ「表示切替ボタン」参照)
4	走行モード切替ボタン	ボタンを押して表示内容が切り替わっているか？ (切り替わり内容は、18 ページ「走行モード切替ボタン」参照)
5	ヘッドライト	点灯しているか？
6	右前ウィンカー	ウィンカースイッチを右にして、右前ウィンカーランプが点滅しているか？
7	右後ウィンカー	ウィンカースイッチを右にして、右後ウィンカーランプが点滅しているか？
8	左前ウィンカー	ウィンカースイッチを左にして、左前ウィンカーランプが点滅しているか？
9	左後ウィンカー	ウィンカースイッチを左にして、左後ウィンカーランプが点滅しているか？
10	ブレーキランプ (スモールランプ)	スモールランプが点灯しているか？
11	ブレーキランプ	右ブレーキレバーを握ると (スモールランプより明るく) 点灯するか？
		左ブレーキレバーを握ると (スモールランプより明るく) 点灯するか？
12	ホーン	ホーンボタンを押して、押している間ホーンが鳴動しているか？
13	モーター	スムーズに動くか？ 異音がしないか？

乗車

警告

乗車前に必ず運転前点検をしてください。運転前点検は、33 ページ「運転前点検」を参照。

- 1 バッテリーを車両に取り付けます。

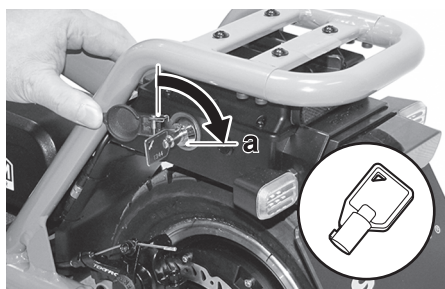
メモ

バッテリーの取り付けは、23 ページ「バッテリーの取り付け」を参照。

- 2 メインスイッチを“入”にして、パワーオンします。

メモ

専用アプリをダウンロードしていただくことで、スマートフォンからも電源の ON/OFF が可能になります。

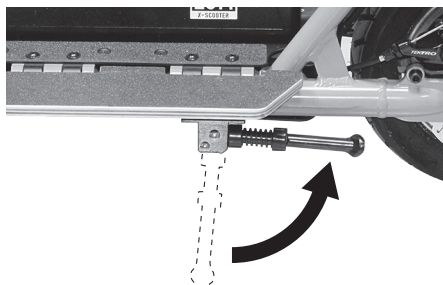


a 電源：入

- 3 スタンドを跳ね上げます。

警告

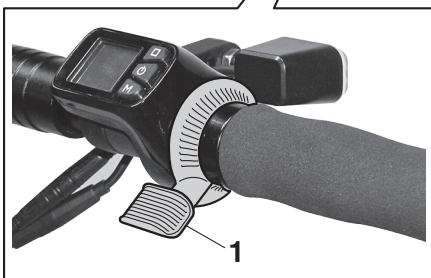
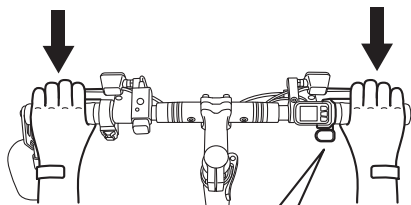
運転する際は、必ずスタンドを跳ね上げて走行してください。スタンドを跳ね上げないで走行すると、段差等でスタンドが接触し、場合によっては転倒するおそれもあり、たいへん危険です。



- 4 左右のブレーキレバーをしっかりと握りながら、車両の左側からまたがるようにして乗車します。

⚠ 危険

乗車時、スロットルには絶対触らないでください。車両が動き出し危険です。



1 スロットル

走行

運転経験がない方は、最初は慣れが必要です。

走行する際は急発進、急加速をしないでください。

⚠ 警告

運転する際は、必ずスタンドを跳ね上げて走行してください。スタンドを跳ね上げないで走行すると、段差等でスタンドが接触し、場合によっては転倒するおそれもあり、たいへん危険です。

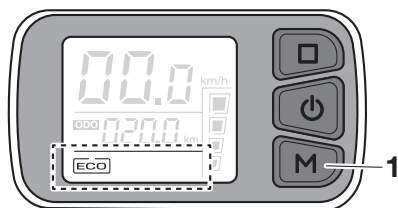
📖 メモ

- バッテリー残量表示が1個になったら、もしくは点滅したら、ECO モードに切り替え、充電をしてください。走行はできますが、走行可能距離が短くなりますのでご注意ください。
- 要充電の状態でも、ヘッドライト及びウィンカー、ブレーキランプ、ホーンは機能します。
- バッテリー容量がゼロになると、ヘッドライトやブレーキランプが点灯せず、ウィンカーも作動せず、ホーンも鳴らなくなります。この状況では整備不良となり、法令違反となりますので、直ちに運転を中止し（走行禁止）、充電をしてください。
- バッテリー残量によって、最高速度とパワーは低下します。
- バッテリーの消耗は、運転の仕方、走行状態、気温、気圧等で変化します。それによって走行距離や、最高速度は変化します。

- 1 インフォメーション・ディスプレイを見て、走行モードを確認します。
- 2 インフォメーション・ディスプレイの走行モード切替ボタンを押して、好みの走行モードを選択します。
- 3 右足をステップに置き、左足で地面を蹴り出しながら、ゆっくりとスロットルを回して車両を発進させます。発進して車両のバランスが安定したら、両足をステップの上にとしっかりと載せます。

メモ

- 各走行モードについては、19 ページ「走行モード表示」を参照。
- 走行モードの切替は、18 ページ「走行モード切替ボタン」を参照。
- 走行モードは、走行中も切り替え可能です。



1 走行モード切替ボタン

危険

方足をステップに乗せ、もう一方の足で地面を蹴ってスピードをつけて乗る乗り方、いわゆる「ケンケン乗り」は危険ですので絶対に行わないでください。

注意

- HIGH モードでは力強く発進しますので、注意してください。
- 走行中は、両足をステップにしっかりと載せてください。



運転

ブレーキ

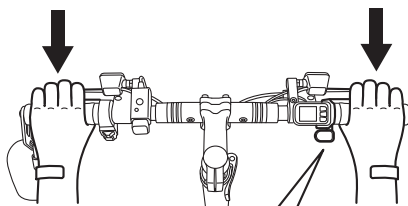
ブレーキは、スロットルを閉じた状態で前輪（右側ブレーキレバー）と後輪（左側ブレーキレバー）を同時に使ってください。

⚠ 警告

- ブレーキレバーを握るときにはスロットルレバーから指を放してください。
- ブレーキパッドは消耗品です。ブレーキの利きが悪くなった場合には交換してください。

⚠ 注意

- 急ブレーキは、タイヤをロックさせてしまい、転倒するなど安定性を損なうおそれがありますのでご注意ください。
- ブレーキをかけたままの運転はしないでください。ブレーキの温度が上昇し、制動力が減少し、効きが悪化し危険です。
- 走行中に急ブレーキをかけた場合、バッテリー保護のために車体の電源がオフになることがあります。1分経つと復帰します。



1 スロットル

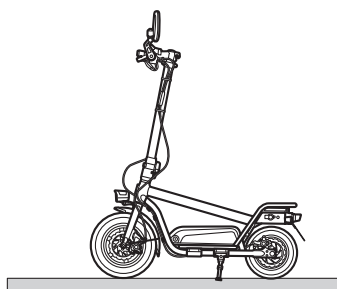
車両の折り畳み・組み立て

駐輪

平坦な地面で、スタンドを下げて駐輪してください。また、盗難防止のために市販のワイヤーロックなどで施錠してください。

⚠ 注意

当製品は原動機付自転車です。駐輪する際は、駐車違反にならないよう、原付が駐輪可能なところへ駐輪してください。また、自転車専用駐輪場には駐輪できませんのでご注意ください。

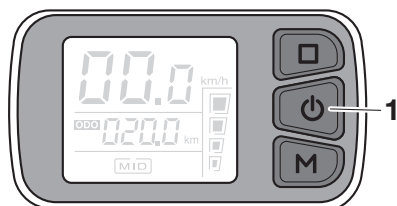


車両の折り畳み

- 1 インフォメーション・ディスプレイのパワースイッチでパワーオフします。

📖 メモ

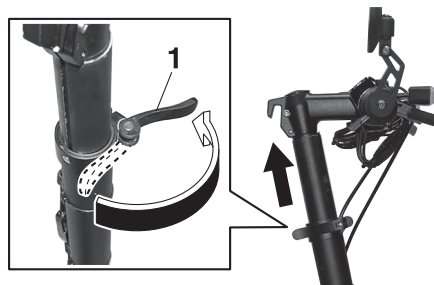
車両を折り畳む際は、必ずパワーオフしてください。



- 1 パワースイッチ
- 2 ハンドル高さ調整レバーを手前に引き、ハンドルが一番高い位置になるように調節します。

📖 メモ

ハンドルの高さの調整は、27 ページ「ハンドルの調整」を参照。



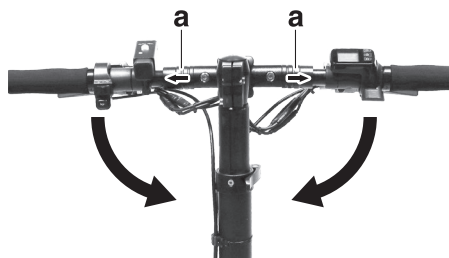
- 1 ハンドル高さ調整レバー

車両の折り畳み・組み立て

- 3** ハンドルの“a”部分をスライドして、ハンドルを折り畳みます。

⚠ 注意

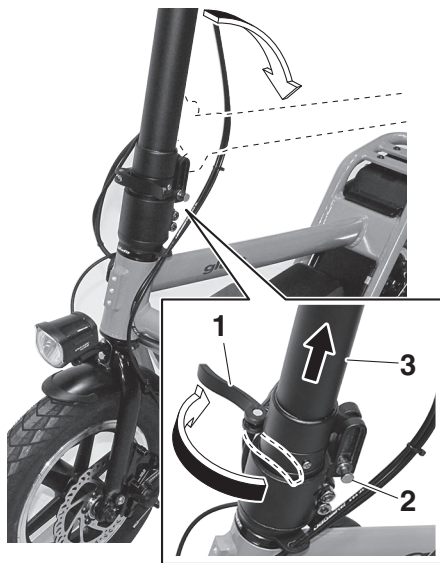
- 指を挟まないように注意してください。
- ハンドルを折り畳む際にケーブルを挟まないように注意してください。



- 4** ハンドル折畳レバーを手前に引き、ボタンを押しながらハンドルポストを上方に引き上げ、次にハンドルを車両後側に折り畳みます。

⚠ 注意

指を挟まないように注意してください。



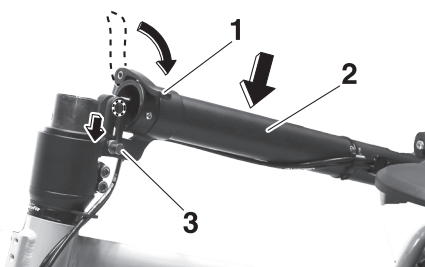
- 1 ハンドル折畳レバー
- 2 ボタン
- 3 ハンドルポスト

車両の折り畳み・組み立て

- 5 ハンドル折畳レバーを元の位置に戻し、ハンドルポストを上から押し下げます。

メモ

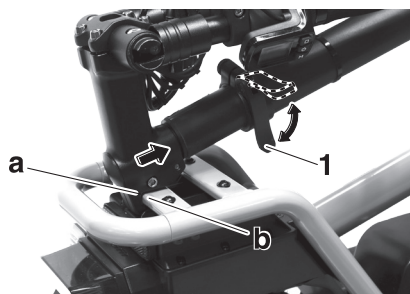
ハンドルポストは、ボタンが飛び出るまで押し下げます。



- 1 ハンドル折畳レバー
- 2 ハンドルポスト
- 3 ボタン

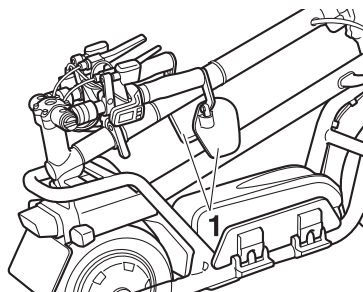
- 6 ハンドル高さ調整レバーを手前に引き、“a”の溝とフレームの“b”部分を咬み合わせます。

- 7 ハンドル高さ調整レバーを元の位置に戻します。



- 1 ハンドル高さ調整レバー

- 8 サイドミラーを折り畳みます。



- 1 サイドミラー

- 9 ステップを折り畳みます。

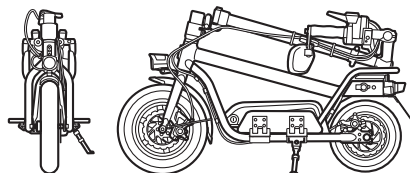
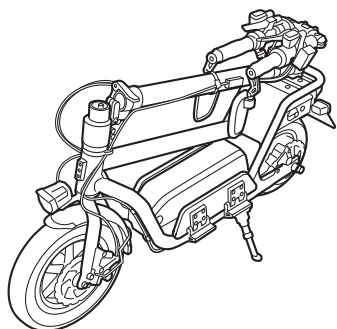


メモ

スタンドは、運搬時など必要に応じて格納してください。

車両の折り畳み・組み立て

10 以下を参照して折り畳み状態を確認します。



8

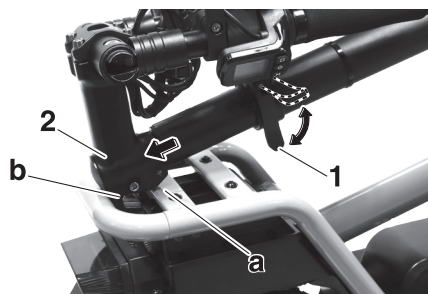
車両の組み立て

1 ステップを出します。



2 ハンドル高さ調整レバーを手前に引き、ハンドルポストを伸ばしフレームの“a”部分から“b”部分を外します。

3 ハンドル高さ調整レバーを元の位置に戻します。



- 1 ハンドル高さ調整レバー
- 2 ハンドルポスト

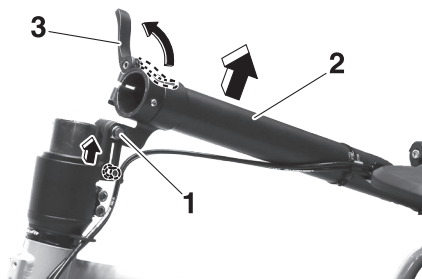
車両の折り畳み・組み立て

- 4 ボタンを押しながら、ハンドルポストを持ち上げます。

メモ

ハンドルポストは、ボタンが一番上の位置になるまで持ち上げます。

- 5 ハンドル折畳レバーを引きします。



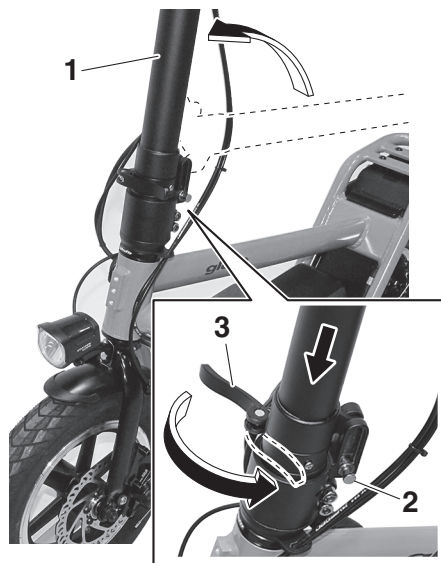
- 1 ボタン
2 ハンドルポスト
3 ハンドル折畳レバー

- 6 ハンドルポストを立て、下側にスライドします。

メモ

ハンドルポストは、ボタンが飛び出るところまでスライドします。

- 7 ハンドル折畳レバーを元の位置に戻します。

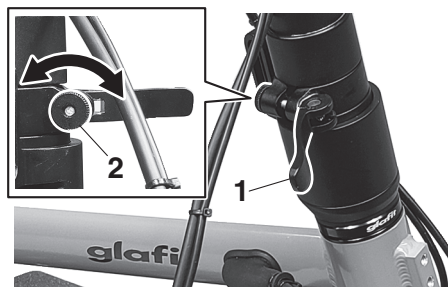


- 1 ハンドルポスト
2 ボタン
3 ハンドル折畳レバー

メモ

- ハンドル折畳レバーを元の位置に戻してもハンドルポストがしっかりと固定できない場合は、レバーが開いた状態でレバー調節ツマミを時計周りに回して調節してください。
- ハンドル折畳レバーが固く元の位置に戻し難い場合は、レバーが開いた状態でレバー調節ツマミを反時計周りに回して調節してください。

車両の折り畳み・組み立て



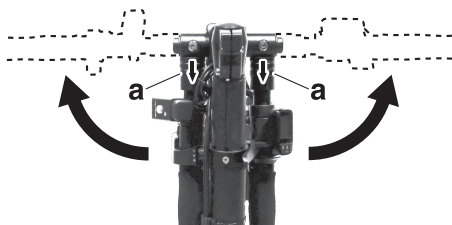
- 1 ハンドル折畳レバー
- 2 レバー調節ツマミ

8 ハンドルの“a”部分を下にスライドさせながら、ハンドルを元の位置に戻します。

8

⚠ 注意

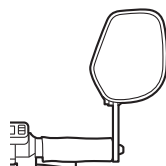
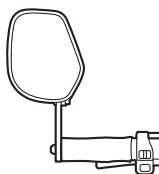
指を挟まないように注意してください。



9 サイドミラーを元の位置に戻します。

📖 メモ

サイドミラーの調節は、29 ページ「サイドミラーの調節」を参照。



10 ハンドルの高さの調整をします。

📖 メモ

ハンドルの高さの調整は、27 ページ「ハンドルの調整」を参照。

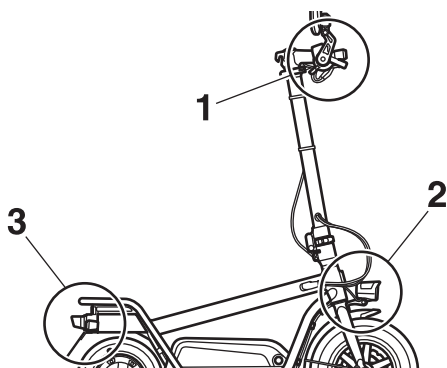
車両の折り畳み・組み立て

- 11** インフォメーション・ディスプレイ、ヘッドライト、ナンバーライト、ブレーキランプ（スモールランプ）の点灯を確認します。



メモ

- 点灯しない場合は、バッテリーの取り付け、バッテリーの充電量、を確認してください。
- 走行前には運転前点検を行ってください。運転前点検の方法は、33 ページ「運転前点検」を参照。



- 1 インフォメーション・ディスプレイ
- 2 ヘッドライト
- 3 ブレーキランプ（スモールランプ）、ナンバーライト

お手入れ

安全に車両をお使いいただくためにも、お手入れは欠かせないでください。
お手入れには、日常的な運行前点検と定期点検があります。
安全にお使いいただくために、お手入れは必ず実施してください。

!

警告

不適当な点検や整備、問題部分の未修理は、事故等トラブルを発生させる原因となります。
トラブルの結果、人の死亡、もしくは重傷を負う可能性があります。正しくお手入れを実施してください。



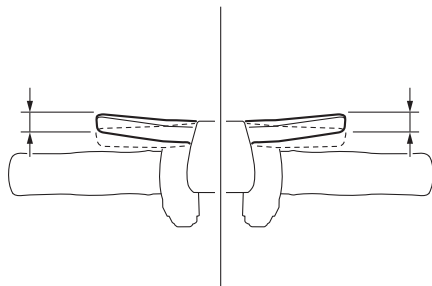
*1: 運転前点検の方法は、33 ページ「運転前点検」を参照。
*2: 日常のお手入れの方法は、51 ページ「日常のお手入れ」を参照。

日常点検

ブレーキ

車両に以下の現象が発生した際は、取扱店へ点検及び修理、部品交換等を依頼してください。

- ブレーキレバーのあそびが大きくなった
- ブレーキレバーを強く握らないと制動しなくなった
- 停車時、ブレーキレバーを握った状態で、車両を前後に動かすとタイヤが回転してしまう



バッテリー

⚠ 注意

車両を初めて利用する前に、バッテリーを起動する必要があります。

初回充電時は、必ず車両からバッテリーを取り外し、バッテリー単体で充電を開始してください。充電器は、確実に奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。

📖 メモ

バッテリーの起動は、13 ページ「バッテリーの起動」を参照。

バッテリーは、自然放電します。ご使用にならない場合でも、1 か月に 1 度は満充電をしてください。



お手入れ

タイヤ

以下の現象が確認できたら、取扱店へ点検及び修理、交換等を依頼してください。

警告

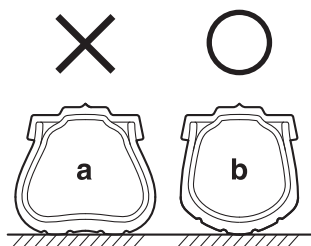
- 空気圧が適正でないタイヤや、極度にすり減ったタイヤの使用は、転倒等、事故やトラブルを発生させる原因となり、死亡、もしくは重傷を負う可能性があります。
- 指定以外のタイヤを装着すると、操縦安定性に支障が発生し、転倒等、事故やトラブルを発生させる原因となり、死亡、もしくは重傷を負う可能性があります。必ず取扱店で指定のタイヤに交換してください。

空気圧の低下（タイヤがしぼんできた、地面への接地面がたるんできた、タイヤを押すと柔らかい等）

適正タイヤ空気圧

前輪：280 kPa (2.8 bar)

後輪：310 kPa (3.1 bar)



タイヤ断面図

a 空気圧 不足

b 空気圧 適正

メモ

- 空気圧は、時間が経過すると低下してきます。必ず点検してください。
- タイヤの空気圧調整は、米式バルブ対応で、空気圧計の付いた空気入れ（コンプレッサー）を使用してください。
- 空気圧は、適正空気圧を目安に、お使いの空気入れのゲージ単位に合わせてご確認ください。



- 1 亀裂や損傷がある
- 2 異物がある
- 3 溝が 1mm 以下となっている
- 4 偏摩耗している

日常のお手入れ

車両は通常に走行しているだけでも汚れま

す。
また、雨水以外に海辺付近では、潮風などにより塩分が付着することがあります。冬季は路面に散布された凍結防止剤などにより、錆が発生することがあります。車両を長持ちさせるためにも、走行後はこれらを除去するため、こまめに拭いてください。

車両は防水構造になっていますが、完全防水ではありません。

お手入れ時には水をかけるのではなく、固く絞った雑巾で拭くか、使い捨てタイプの掃除用クロスなどを使って、汚れを拭き取ってください。

各部品の交換

ブレーキパッド、タイヤ等の消耗品、ヘッドライト、ウィンカー、ブレーキランプなど各部品の交換は、それぞれ X-SCOOTER LOM の専用品のため、取扱店にてお買い求めと交換ができます。

つきましては、取扱店にお問い合わせをお願いいたします。

警告

- 高圧洗車機は使用しないでください。
- 水をホースから直接かけることや、フレームの下から上に水をかけることはしないでください。

トラブルシューティング

「故障かな？」と思ったら、まずは以下をご確認ください。改善しない場合、わからない場合は、取扱店へご相談ください。

インフォメーション・ディスプレイがオンにならない

- インフォメーション・ディスプレイのパワースイッチを長押ししてください。
- メインスイッチが“入”になっていることを確認してください。
- メインスイッチが“入”になっていない場合、インフォメーション・ディスプレイのパワースイッチでのオン／オフはできません。
- バッテリーが充電されていることを確認してください。
- バッテリーが確実に取り付けられていることを確認してください。

走行中にインフォメーション・ディスプレイがオフになった

走行中に急ブレーキをかけた場合、バッテリー保護のために車体の電源がオフになることがあります。

1分経つと復帰し、車体の電源がオンになります（インフォメーション・ディスプレイもオンになります）。

パワーがでない、速度が遅い

- バッテリー残量表示が1個の状態、走行モードがMIDかHIGHになっていないか確認してください。走行モードがMIDかHIGHになっていた場合はECOモードに切り替え、充電してください。
- バッテリー残量表示が1個の状態、表示が点滅していないか確認してください。表示が点滅している場合はバッテリーを充電してください。
- バッテリーの充電時間が長くなったり、満充電しても走行距離が短くなっているか確認してください。バッテリーの充電時間が長くなったり、満充電しても走行距離が短くなっている場合は、取扱店で新品を購入し、お取り替えください。

メモ

急な上り坂や厳寒な環境では、バッテリーが通常の状態でも能力が低下し、パワーや速度が落ちます。

トラブルシューティング

充電時間が長くなった

バッテリーが消耗しています。公式サイト、または取扱店で新品を購入し、お取り替えください。

満充電しても、走行距離が短くなった

バッテリーが消耗しています。公式サイト、または取扱店で新品を購入し、お取り替えください。

パンクした

装着しているタイヤは、専用のチューブタイヤです。取扱店やメンテナンス店でパンク修理を依頼してください。

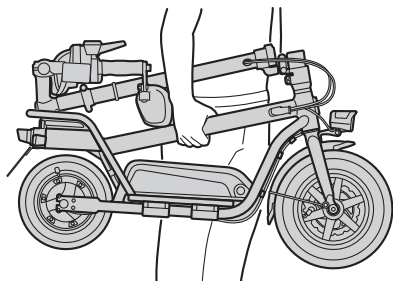
バッテリーが充電されない

バッテリーを長期間（1 ヶ月以上）使用しないまま放置した場合、完全放電してしまうことがあります。この状態で充電コネクタをバッテリーに接続すると、回復充電を行います。この間、充電器のインジケータ LED ランプは緑色に点灯または点滅します。回復充電が完了するとインジケータ LED ランプは赤色に点灯し、通常の充電が開始されます（回復充電には最大 30 時間程度かかる場合があります）。

運搬・保管・廃棄

運搬

運搬する際は、折り畳んだ状態でフレームを持って運搬してください。

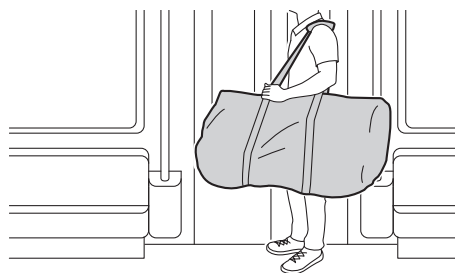


電車やバスなどに持ち込む場合は、ケースや輪行袋などに入れて、車両が露出しないようにしてください。そして周囲の人に当たらないよう十分な配慮をしてください。また、ご乗車される交通機関に事前に問い合わせをし、持込について確認してください。

自動車で運搬する際は、車両が動かないように自動車へ確実に固定してください。

メモ

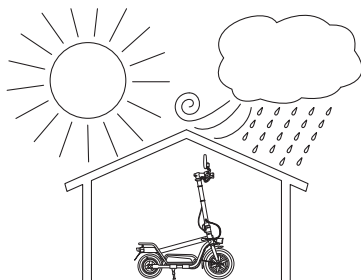
本車両のバッテリーは航空機には持ち込めません。



保管

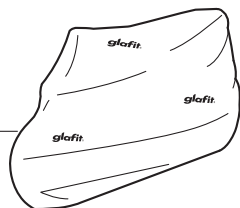
保管する際は、盗難やいたずらなどされないよう安全な場所に保管してください。
また、下記のような保管に適した場所をお勧めします。

- 平坦なところ
- 風雨にさらされないところ
- 風通しのよいところ
- 湿気のないところ
- 直射日光があたらないところ



⚠ 注意

- カバーは雨の侵入を完全に防ぐものではありません。強い雨がかった場合、縫い目等から水が侵入する可能性があります。
- 台風の時等、強風で製品が倒れた状態のまま放置していると、バッテリーやモーターが浸水によって故障する可能性があります。



2 週間以上ご使用にならない場合は、バッテリーは車両から取り外し、直射日光を避けて常温保管してください。

⚠ 注意

バッテリーは単体でも自然放電します。完全放電してしまうと再充電ができなくなる恐れがあるため、使用しない場合でも、1 か月ごとに必ず充電してください。

運搬・保管・廃棄

廃棄

廃棄する際は、取扱店もしくは最寄の「廃棄二輪車取扱店」にお問い合わせください。またバッテリーは、リチウムイオン電池です。資源有効利用促進法によりリサイクルが義務づけられているため適切に処理してください。

環境保護のためにも、むやみに捨てないでください。

メモ

「廃棄二輪車取扱店」とは、廃棄二輪車を適正に処理することができる二輪車取扱店です。

廃棄物処理指定店として登録されている取扱店で、一般社団法人全国軽自動車協会連合会に登録している取扱店です。

廃棄二輪車取扱店票が店頭に掲出されています。



仕様

車両型式	LOM-01
全長	1050 mm
全幅	660 mm
全高	1130 ～ 1230 mm
車両重量	20.0 kg (バッテリー装着時)
電動走行距離	約 40 km (条件により大きく異なります) ※ ¹
出力	0.35 kW
巡航速度	25 km/h ※ ²
バッテリー種類	リチウムイオンバッテリー
バッテリー電圧	48 V
バッテリー容量	441 Wh
充電時間	約 3.5 時間
駆動方式	インホイールモーター
タイヤサイズ	前：12.5 × 2.25、後：10 × 2.5
適正空気圧 (目安)	前輪：280 kPa (2.8 bar)、後輪：310 kPa (3.1 bar) ※ ³
制動装置形式	ディスクブレーキ
最大積載量	100 kg
乗車定員	1 名
使用想定地域	日本国内専用 ※ ⁴

made in Japan

※ 1：走行パターン A：テスト走行環境 (定値定速走行を想定)

平地を速度 25 km/h で走行し停止するまでの距離

荷重 50 kg 時…44 km

走行パターン B：テスト走行環境 (街乗り走行を想定)

平地を一定間隔で走行 (25 km/h)・停止を繰り返し、停止するまでの距離

荷重 55 kg 時… 25 km

荷重・風向き・勾配・発進 / 停止の頻度などにより走行距離は上記パターンよりも著しく低下する場合がございます。

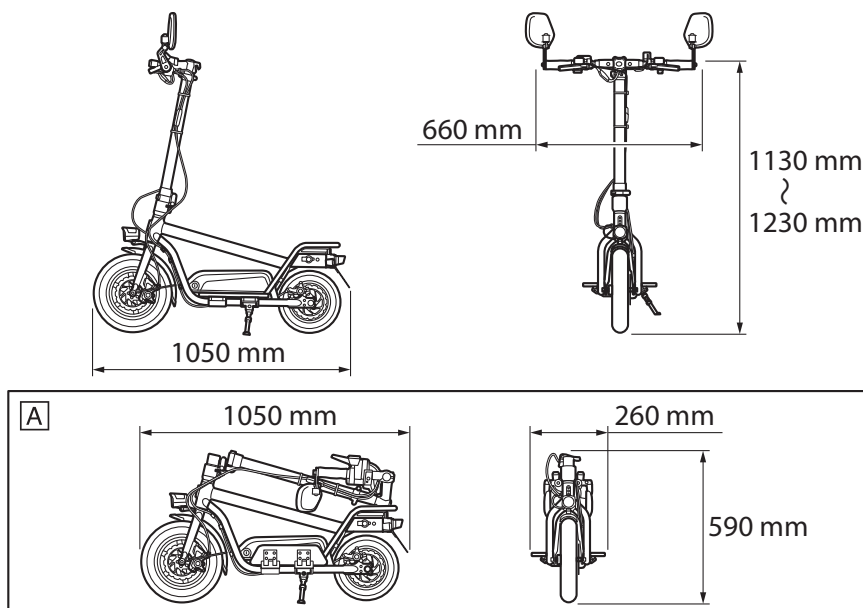
※ 2：バッテリー満充電での平地走行時。バッテリー残量により最高速度は低下します。

※ 3：お使いの空気入れのゲージ単位に合わせて、空気圧を確認してください。

※ 4：日本国外では使用できません。使用した場合は、保証や修理の対象外となります。

車両情報

車両寸法



メモ

- “A” は折り畳み時の寸法です。
- 記載の寸法は目安となります。

車台番号打刻位置

車台番号はナンバーの登録や保険の加入などに使用します。



1 車台番号

あ

アプリ接続パスワード変更ボタン 20

い

インフォメーション・ディスプレイ 15

う

ウィンカースイッチ 28

運転免許証を携帯 12

運搬 54

お

オドメーター 17

オドメーター（1000 km 以上）17

か

各部品の交換 51

こ

後輪ブレーキレバー 29

さ

サイドミラー 29

サイドミラーの調節 29

し

自賠責保険への加入 12

車台番号打刻位置 58

車両寸法 58

車両の折り畳み 41

車両の組み立て 44

充電器 26

仕様 57

乗車 37

証明書をケースに入れる 13

す

スタンド 31

ステップ 31

ステップの折り畳み 31

スロットル 30

せ

接続パスワードの変更 20

専用アプリのダウンロード 14

前輪ブレーキレバー 29

そ

走行 38

走行時 31

走行モード切替ボタン 18

走行モード表示 19

速度表示 19

た

タイヤ 50

ち

駐車時 32

駐輪 41

索引

と

トリップメーター 17

な

ナンバープレートの登録 12

に

日常点検 49

日常のお手入れ 51

は

廃棄 56

バッテリー 49

バッテリーインジケーター 22

バッテリー残量表示目安 19

バッテリー電圧表示 18

バッテリーの充電 24

バッテリーの取り扱い 21

バッテリーの取り付け 23

バッテリーの取り外し 23

パワーオフ状態での点検 33

パワーオン状態での点検 35

パワースイッチ 16

ハンドル 26

ハンドルの調整 27

ひ

表示切替ボタン 16

ふ

ブレーキ 40,49

へ

ヘッドライト 28

ヘルメットを用意 12

ほ

ホーン 28

ホーンボタン 28

保管 55

め

メインスイッチ 20

メインスイッチキー 20

ゆ

USB 充電器 32

USB 充電器の使用 32

ユーザー登録 13

お問い合わせ

製品についてのお問い合わせは、取扱店または当社までご連絡ください。

glafit 株式会社（グラフィット）
メール：support@glafit.com
公式サイト：https://glafit.com

製品について、よくあるお問合わせは以下からご確認ください。

ヘルプセンター：https://support.glafit.com/hc/ja

glafit®